

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70298
事業名	小児慢性特定疾病児童等自立支援費					
評価担当課	所 属	保)保健所 保健管理課			電話番号	011-622-5153
施策名	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	・平成27年に児童福祉法の改正により、医療費助成に加えて自立に向けた支援を行う自立支援事業が制度化され、令和4年の改正では任意事業が努力義務事業となり自立支援事業の強化が示された。 ・令和4年に実施した実態調査では、社会保障制度や福祉サービスなどのわかりやすい情報の提供や小慢の知識をもった総合的な相談窓口が必要との意見が多く、また長期入院等による学習の遅れ、進学、就職への不安などを抱えている実態がわかった。
	事業内容(何を実施し)	①社会保障制度やサービス等の情報提供:小児慢性特性疾病ガイドブックの原案を作成。 ②就職支援:早期から就職準備の意識啓発をするためのツール「じぶん観察日記」を札幌市立大学と共同研究で原案を作成。 ③学習支援:長期入院中の児童等が在籍校からオンライン授業を受ける際に用いるICT機器(Chromebook対応のWEBカメラ及びスピーカーマイク)を必要時貸し出せるよう購入し準備。 ④総合的な相談窓口:相談体制の強化を図るために、様々な相談に応じ自立に向けた支援を行う自立支援員を配置した小児慢性特定疾病児童等自立支援センターを設置することとし、センターの委託に向け、小児慢性特定疾病対策地域協議会(小慢部会)で協議を実施。小慢部会で委託先として提言された北海道大学病院と打合せを開始。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	小児慢性特定疾病児童等とその家族の様々な悩みに寄り添えるよう相談体制を強化し、学習や就職支援事業などを通して自立を目指していけるようにしたい。
	他都市の状況	指定都市20市のうち、10市は自立支援員による相談支援を医療機関などに委託している。また、就職に関する講演会や相談会を実施しているのは3市、学習支援事業を実施しているのは2市である。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	93 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	10,000 千円	うち特定財源	5,000 千円	正規職員業務量	2 人工

指標	アウトプット活動指標1	小児慢性特定疾病児童等自立支援員による相談対応件数		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		—	—	—	200	300	400
	↓						
	アウトカム成果指標1	相談や各種事業を利用して課題が解決した又は安心した者の		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		—	—	—	60	70	80
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和6年度から実施予定					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2			という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	令和6年度から自立支援員の委託による相談体制の強化を図るとともに、就職に関する講演会の開催、学習支援事業の実施など事業を拡大していく。また、デジタル版で作成する小児慢性特定疾病ガイドブックを公開し、社会保障制度やサービス、相談先等の情報提供を行う。